ヘ4
4367
1

公代文庫

へ4
4367
1-2

[illegible]

[illegible]

[illegible]

内閣文庫
号 4367
1

なのそれ世事をわすれ
ものとなりて此なすよりハ清き気
をもてあそぶそのかぜつゝみ
なりの形ふるまひとなれとも志
新しかりしかくこの抹良枝集と名付
ふるまひ

詩抹良枝集目録

今秘書之

第一 詠方法并

一 世六字哥　二 世四字哥　三 世五字哥　四 才一句有七字并
五 才三句有七字并　六 一首の中に七字てよれる三句　七 不言之物并 詠用詩方　八 有二流方共当本方用之哥
九 一字中無句之畳韻并

上巻百廿七ケ条

第二 取ケ詠本説并

次第以下續之

十 取ケ詠二句或三句以遠方物　十一 ケ詠才三句を才三句に分て後の物　十二 ケ詠才三句を才三句に分て七字并　十三 取ケ詠一句物
十四 ケ詠二句三句不替五字抹　十五 ケ詠花鳥より贈答之抹　十六 ケ詠の隔句つゝ　十七 立用ケ詠物尽 云河并
十八 立用詩云事　十九 歌を問りて云ものゝ後の抹　廿 字面よりそれとなく其の方よりする

第三 虚字ゝ云葉

廿一うえて　廿二あやう　廿三あやあ　廿四あやう
廿五いうめ　廿六けよ 勝覚ホ　廿七ようた　廿八なのへと
廿九ほふ　卅ゆむゆう　卅一ゆうく　卅二ようへ
卅三むゆく　卅四ゆうも　卅五ゆうく　卅六ゆうく
卅七うくかう　卅八ゆうゆう　卅九ゆて　四十ようる
四十一ゆうく　四十二やよ　四十三ゆうた　四十四ようひ
四十五いうひ　四十六ゆうく　四十七ゆうく　四十八ようむ
四十九かうた　五十うう　五十一ようす　五十二ようね
五十三ふうま　五十四ようら　五十五ゆうへ　五十六ゆうた
五十七ようち　五十八ゆて　五十九ようへ　六十ようよ
六十一ゆうあ　六十二ようた　六十三ようた　六十四ようた
六十五ようた　六十六ようあ　六十七ようや　六十八ようあ
六十九ようる　七十ようる　七十一ようす　七十二ようる
七十三ようて　七十四ようま　七十五ようた　七十六ようを
七十七ようて　七十八ようへ

第四　実字云第

七十九ようを　八十ようを　八十一ようほ　八十二ようる
八十三ようを　八十四ようつ　八十五ようり　八十六ようや
八十七ような　八十八ようを　八十九ようる　九十ようも
九十一ようを　九十二ようこ　九十三ようこ　九十四ようた

九十八神 九十七いなを 九十八神りそ
九十九こうし 百ゝ人へ 百二掛り
百三おきかひ 百四ゝこれ 百五ゑむふ 百六海の
百七ゝしれし 百八ゝのあひ 百九ゝつゝ 百十ゝふさ
百十一ゝあさこと 百十二ゝ八百十三ゝ掛 百十四八千ゝもを
百十五ゝもの 百十六ゝこの 百十七ゝやて 百十八神ほく
百十九山掛ゝ 百廿かゝりら 百廿一ゝ女 百廿二ゝ愛とうへ
百廿三 ゆつく 百廿四ゝ掛 百廿五ゝうまう
百廿六ゝ恋ゝ 百廿七ゝよのゝゝ

乙上 上巻終

新撰髄集巻上

第一　出線部

一 廿六字部　廿一字ハ又字ハ多ハ也

八字ゝ作物
わゝゝ海の浜ゝかゝ又ゝ久ゝ
ゝくわゝ松ゝ浦ゝ
ゝ松ゝ
二条院讃岐

二 廿又字部　廿一字ハ字ハ

作物地歌
家ゝ酒ゝ人ゝ人ゝ
ゝ松ゝ

三 廿字部　廿一字ハ三字ハ

古今
ゝ浦ゝ
ゝ浦ゝ
後
冬ゝ他ゝ
新古
ゝ海ゝ

後人
ゝ知
後人
不知

同

[illegible]

二字ハ下わまり言葉の数を不知故不載之歟

四 才一句有七字歟

万

いそのかみ[illegible]

新古

さくらわかはの三[illegible]

[illegible]

五 才三句有七字歟

[illegible]

子

[illegible]

[illegible]

源俊房

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七 不言其物被詠用許可

万 [illegible]

同 [illegible]

拾二 [illegible]

同上 [illegible]

同上 [illegible]

八 有二被言其為和歌用之事

拾十六 [illegible]

拾十六 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

九 一首中毎句有五字相交

五一 [illegible]

同十二 [illegible]

後九 [illegible]

同前 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十 第二 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一五七　あら[illegible]の新酒のかをるあさ[illegible]ん

[illegible]　武蔵や新酒ちるあら[illegible]梅く川水[illegible]のかくまで[illegible]月　[illegible]

一五八　あてやの氏神祭人をあ[illegible]風こやことをとをみくぼ[illegible]

[illegible]　[illegible]門をさす梅の白ふ[illegible]ら[illegible]や[illegible]を吹[illegible]

一五九　[illegible]ふ[illegible]ぬ[illegible]ふ[illegible]や[illegible]紀[illegible]かハ[illegible]

[illegible]　[illegible]ら[illegible]の[illegible]の[illegible]

十一　[illegible]の[illegible]三句を[illegible]一二句[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

十二　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

十三　[illegible]三句を[illegible]一二句[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

十三

元年百一首

古 恋しとは思ふ人をも思ふらむ人をぞ思ふ人ぞ知る

拾 ちはやぶる神のいがきもこえぬべし恋しき人の見まくほしさに

新古 わが恋はしるべもなしや白雲の立ちのぼりてもかなしかりけり

古二 恋ひ恋ひて逢ひ見てのちの心にしあるいとどかなしき

新古 ながらへばまたこのごろやかくばかり物思ふ身にはあらぬ

拾 ながらへばまたこのごろやかくばかり物思ふ身にはあらぬ

新古 ながらへばまたこのごろやかくばかり物思ふ身にはあらぬ

拾 あまのかるもしほ思ふ心は

新古 あまのかるもしほ思ふ心は

古三 あやめ草ねやゆさうんかりそめ

新古 ねやゆさうんかりそめ

古八 ぬまぬまかけてかりそめ

新古 ぬまぬまかけてかりそめ

古八 ぬまぬまかけてかりそめ

新古 ぬまぬまかけてかりそめ

拾

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十五

中納言

中宮

左大将

左中将

左大臣

右大将

左大臣

右大将

左大臣

右大

[illegible]

[illegible]

[illegible]

百三

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同庁山夜雨草庵中

[illegible] 俊成

晋[illegible]献山陰[illegible]

[illegible]

雪[illegible]

[illegible]

文集歌[illegible]中五老峰

[illegible]

毛詩云海波高冠[illegible]馬玄黄 白カリトキニヒフニ 俗馬病則黄

[illegible]

文集酔悲波瀾春坏中 白氏文集舟中夜元微之時日是

[illegible]

文集三林[illegible]漏四長宵潺雨滴万里[illegible]郷[illegible]

[illegible]

[illegible]

同

同望長安城遠樹百[illegible]方[illegible]

[illegible]

同

鄭云緒[illegible]神日常[illegible]愚[illegible]邪渓載[illegible]為雅頭且南風

暮北風至今為然号鄙之風ト

漢和名抄 ゆのさめ夕さめ小雨風の寒ら雨乃和の乃 同

毛詩注鶴鳴篇九皐聲聞于天 早澤也

九入聲皐ハ高ク明ラカナリ沢の中低田ノ新ハ高ク乾キ也 蒼後

十九 頌と云ふ事を云ふ

接志 ちりぬ桜ふる雪も雪ふるも雪ふるも桜ふる雪も雪ふるも桜ふる雪

約志 風ふくとわすれぬ桜神ふ桜ふる雪ふる桜の白雪 同

恨志 ふる雪の白雪とわすれぬ桜ふる雪ふる桜ふる雪

接志 接衣神ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

單勇記 山後勇記 光ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

松浦山

ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

右山上憶良在大唐憶故郷の方を遥に望み又憶良思子等の方を遥に望み又松浦佐用姫の子等を思ふ歌

あをによし奈良の都の大和なる人に逢はんと

秋の夕ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

山の名春霞 春山ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

言山名 ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

名所山 ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

名所 ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

世月名有 ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪ふる雪

[illegible]

右一首家集二首あり一云

[illegible]

又云

[illegible]

二条[illegible]の袖は涙の[illegible]

やえ[illegible]は[illegible]

[illegible]

[illegible]

右拾遺集には載せる歌なり

二十 字面無八月とさしたれてニハニテ家集ニナル事

又[illegible]

[illegible]

[illegible]

右[illegible]の袖[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右初句一云[illegible]

五人せいまつ[illegible]

第三　虚字之部

九一　[illegible]

五　[illegible]

同十六　[illegible]

一百十一　拾十三　[illegible]

五十九　[illegible]　同

拾拾　[illegible]

九二　わやる　[illegible]

五　[illegible]

同十二　みとりわるとこ[illegible]

同十二　[illegible]

拾　[illegible]

九三　わやか　わやかしの乃ちりを略しこゝろ也

五　[illegible]

拾　[illegible]

同　[illegible]

拾一　白ひとの風よそをもむめ[illegible]

九四　わやう　なやふくこゝろいふハ綱也　わいすゝんも

拾　[illegible]

廿五

廿六

右勝乃字也

廿七

右現乃字也

廿八

廿九

万 見まくをあかねとおもふ人なれば
五十七 はるかにもとをくもあるかな
二十 あさ[illegible]
隣八首 とくまつと山田もさくるころ田子
万五十 [illegible]
五十八 七夕[illegible]
同 むすび良[illegible]
世一 ゆくもとまるもこころ
新古 [illegible]
世二 まくらのうへにかすみたつ
[illegible]

万 [illegible]
五十八 [illegible]
[illegible]
世三 [illegible]
万 [illegible]
五十 [illegible]
[illegible]
世四 [illegible]
[illegible]

後

姫君の枝をこそ折ふしなれ

卅五 海人

[illegible]

今[illegible]

卅六 夜泊

[illegible]

卅七 [illegible]

二ノ心五一八ノ章ニ[illegible]

[illegible]

卅八 牧

[illegible]

卅九 山

[illegible]

卅 人

[illegible]

卅一 先如何

[illegible]

因

[illegible]

四十

四一

四二

四三

四四

[illegible]

同

[illegible]

四五

[illegible]

四七

[illegible]

四六

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五一 ものすごく すさまじ たとへば 大きなる也

五七 わかみそらに浪さわぎて ものすごく海風はげしくふきわたる

接 打さわぎ 雲ハ山ふかく ものすごく 海

海 波ものすごく 物ものすごく 海風はげしくふきわたる

海 里ハ人ものすごく 海風はげしくふきわたる

海 ものすごく 紀州のものすごくなる 白竹

五二 ものさびしく 不祥也 ものさびしい 愛也 世俗に用ゆるなり

五一 山ものすごく 人ものさびしく 物もなく ふかくふかくまれなるやうに 後人 新

海 海 海

[illegible]

五七 [illegible] カタフク心也 [illegible]

[illegible]

五八 [illegible]

[illegible]

五九 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六十 [illegible]

[illegible]

[illegible]

六十一

[illegible]

六十二

[illegible]

六十三

[illegible]

六十四

[illegible]

六十五

[illegible]

六十六

[illegible]

六十七

[illegible]

六七 あはやとく　あやとる也

後 わすれ草　姫の涙　山ぶきの花　四合る紀也

六八 うち先　うつかり　うつかり　高風也　うつかりといふ

左 ものの義也　ものの義也　ものの義也　ものの義也　紀貫之の風

後 濃民　あまの苫屋　苫屋　苫屋　苫屋　苫屋　苫屋

六九 うちひさし　うちひさし　同也　うちひさしはうちへさしかへる也　うちへさしかへる

左 秋歌　ふるひさしの山下とよめる　秋歌　ふるひさしの山下とよめる

後 秋歌

七〇 とる　動也

左 ものの義　ものの義　ものの義　ものの義　ものの義　ものの義

後 ものの義　ものの義　ものの義　ものの義　ものの義　ものの義

七一 とる　動　とる　動也

左 わすれ草　姫の涙　山ぶきの花　四合る紀也

七二 ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ

後 ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ　ふるこ

七三 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

左 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

後 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

七四 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

七五 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

七六 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

七七 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

七八 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

七九 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

八〇 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

八一 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

八二 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

八三 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

八四 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

刻 まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく　まれく

[illegible]

十六

[illegible]

十七

[illegible]

十八

[illegible]

七九　わさうの字　わさはふとう詞也わさうを同朋会ト也

八十　むつと　三心アリ一ハ六ツ志一ハ命ライフ

八一　かつは　二ノ心アリ一ハ借虎也一ハ勇猛也

八二　先をつく　二ノ心ハ三ハ第ヨリ

[illegible]

[illegible]

八三

[illegible]

八四

[illegible]

[illegible]

八五

[illegible]

八六

[illegible]

八七

八八

八九

九十

九一

めいり　二心アリ一ハわすれなくもの時ハ入る義也
一ハものうらめしく思ふ心のなんし
ものうらめしく思ふ心ハ　二心アリ
ぬるとおく紀ものとハ
ぬるとおく紀ものとハ　ものうらめしく思ふ心也
ぬるとおく紀ものとハ　ものうらめしく思ふ心也
ぬるとおく紀ものとハ　ものうらめしく思ふ心也

九五

九六

九七

九八

九九

百

百二

百三

百四

百五

百六

百七

百八 三重乃芳

百九

百十

百十一

百十二

百十三

百十四

百十五

やまとのくにのうめさくはるのそらとかすみよりさくらはなさくうめさくはるのそらかすみよりさくらはなさくうめさくはるのそらかすみよりさくらはなさくうめさくはるのそら

民部卿藤原為家朝臣

百六十一

為氏

海ならねかふかも人と見はてぬ袖の浦波藤海

袖の浦波むすぶ水とかすらん　孟蒲

右二首後撰集乃紀ふかうん見こうも

百六十二

万

ぬりはく車　ぬりはの顔也　乳母もとる車也

おひおとなる人を思ふあり紀のもりの人よめるけうと

なりをぬりはくこと不注のもりの人よめるうくハ後撰

きもりくも　一八俳諧鬼のもりも　るあハう紀てもも此

うてもあれハ俳鬼のもりもへ云也

百六十四

うか紀　うかうか紀也也　春の同

万八

あり海の野へ分か紀ふかうん見ものも高きよつも　春の

百六十五

うかうか紀　とうかうかもも也ひかうかねもし

わさうかくく海ヲの松ヲ思へ見うかも紀乃ものふかもや

百六十六

こ乃もろ衣　うかとろ人さかろふかうろ衣と云也八宮方八

後撰

人乃代衣八方代も寄ものしかり

海雲法の家乃新さうろ集ふかるもとと云まあり般若

山里の春の雪ふかみ人の来ぬ子ねぐらよ
せるうぐひすの人ぬ代をかけ初そめ
百首
うぐひすのこゑ　大貴公の御孫乃
拾十
わかるゝ月とよそにこそ思へ
寅歳　作